

7月は同和問題啓発強調月間

話すことで自分の中の 偏見に気付く

さまざまな差別について「知らないこと」「無いこと」になっ
てしまう場合があります。「部落差
別解消のためには、視点を変えて
歴史を学ぶことが重要」と人権に
ついて学ぶことの大切さを伝えて
いる堀田秀茂さんに聞きました。

知られていない歴史がある

私は中学校の社会科教諭でした。
同和教育推進教員になったとき、
納得して子どもたちに語りた
被差別部落の人たちと話をしたり、
歴史を学び直したりしました。分
かったのは、表に出ていない被差
別部落の暮らしや差別解消のため
の闘いでした。知っているつもり
で実は知らなかった自分が恥ずか

しかったですね。語り継がれてい
る歴史は、広く知られている歴史
と大きく違うことがあります。文
字で伝わっていない事実もありま
した。例えば、学校で、江戸時代
に翻訳された「解体新書」を学習
しますが、同時代に被差別部落の
人たちが、医学や薬学の技術、知
識を持っていたという事実はあま
り知られていません。違う視点か
ら歴史を調べ、次世代に伝えてい
くこと、それが私の活動の原点です。

人ごとという意識が生む差別

全国水平社（※）創立から今年
で100年になります。創立大会
で採択された宣言は、部落差別に
苦しめられた人たちが発した心の



講演活動を行う堀田さん

底からの叫びです。当事者だけで
はなく国民全体へのメッセージだ
と思います。宣言から当事者によ
る差別解消に向けた運動が始まり
ました。しかし、まだ差別は無く
なっていないんです。平成28年「部
落差別解消推進法」が施行され、
国が、改めて今も部落差別はある
と認めました。差別に苦しんでい
る人がいる現実をどこか人ごとと

同和問題啓発強調月間に
開催される講演会はこちら



■堀田秀茂さん
久留米部落史研究会 理事
で元中学校教員。長
年、部落史を研究し、
フィールドワークも
行っている。昭和28
(1953)年生まれ

考えている人が多いのではないで
しょうか。人ごとという意識が差
別を生んでいると思います。

日常の中でも不安を感じる

あるとき、被差別部落の人から
「仕事から帰って来て、家の近くの
橋を渡ると、ほっとして肩の力が
抜けるんです」という話を聞きま
した。日常の中でも、当事者にとっ
ては、まだ緊張を強いられる厳し
い社会なんだと衝撃を受けました。
私たちは、共通の話題を探そう
として、つい出身地を聞くことが
あります。被差別部落の人たちに
とって、その質問は不安でしかあ
りません。当事者は「出身地で差
別されるのではないか」と常に身構
え、差別と闘っています。普段の
何気ない会話の中でも、不安な思
いを抱えている人がいることを、皆
さんに分かってほしいです。

当たり前に話せる社会に

差別を無くすためには、私たち
一人一人の内面から偏見を無くす
ことが大切です。学校で学ぶなど

※全国水平社
大正11（1922）年に結
成された被差別部落の解放を
目指した最初の自主的な組
織。創立大会には全国から大
勢の人が集まった。大会では、
被差別部落出身者だけでなく、
すべての人間の解放を目
指すことを明らかにした。大
会で採択された宣言は「人の
世に熱あれ、人間に光あれ」
で結ばれ、日本で最初の人権
宣言といわれている。

同和問題啓発強調月間 特別パネル展



同和問題啓発強調月間に合わせ「日本
国憲法にこめられた思い 部落差別解消
推進法にかける願い」および水平社宣言
100周年に関するパネル展を開催します。
■7月1日から30日(土)までの9時30
分～17時 ■会場 えーるピア久留米
◎人権啓発センター

(☎)0942・30・7500、
FAX 0942・30・7501

して、差別はいけないことだとみん
なが分かっています。しかし、そ
れだけでは、真の差別解消にはな
らないんです。偏見があると、周
りの意見に流されて差別を助長し
てしまう可能性もあります。解消
するためには同情ではなく、自分
の中の偏見に気付くことが必要で
す。そのためにも学び続けること
が大事。差別が生み出された背景
や当事者が歩んできた歴史を知る
と、思い込みや偏見が覆ります。

部落問題について話すことも必
要です。私たちは、どこかで部落
問題について話すことを難しいと
か、間違ったことを言っていない
かなどと思ってしまうのではない
でしょうか。話すことで自分の誤
りに気付くし、他人の考えも知る
ことができます。差別を無くすた
めに、部落問題をみんなが当たり
前のように話せるようになったら、
誰にとっても安心して生きやすい
社会に近づくと考えます。

◎人権・同和对策課 (☎)0942・
30・9045、FAX 0942・30・
9703

